

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足：Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は10日間程度）

ジャンル：汎用スキル（QC, ものづくり, ビジネス）

講習会コード： t d s 2 0 2 5 0 1 1 0 h 1

製造や製品開発を主導する管理職やベテラン技術者におすすめ！ 採算性を確保した生産活動には、原材料や加工に関する費用の見積もりが不可欠です。本講座では見積書を読み解き分析するためのノウハウと、そこからコストダウンに繋げる具体的なアプローチを解説します。

～ 国内回帰を見据えた取引金額査定と製造コスト削減のための～

見積書の読み解き方と、その情報を活用したコストダウンの進め方

講師：日本コストプランニング株式会社 代表取締役 間舘 正義 氏

大手省力化機器メーカーで製造現場、生産管理の実務を経験。生産管理担当時代には、生産システムの見直しを図り、製品の大幅な欠品率の低減と在庫の削減、売上高アップに貢献。その後、コンサルティング会社にて生産関係のコンサルティングに従事。さらに、大手ソフトウェアハウスではコンピュータによる生産管理を担当。1998年に日本コストプランニング(株)を設立し、ものづくりとコストの関係を主体に人材育成や合理化など経営資源の有効活用を図るためのコンサルティングを行う。主な著書は、『図解 原価管理』（日本実業出版社）、『コスト見積もり力養成講座』『目標原価達成に必要なコスト見積もり術』『正しい見積書評価とコストダウン』（ともに日刊工業新聞社）、『原価管理入門スクール（通信教育）』など。このほか寄稿多数。

●日程 2025年1月10日（金）10:00～17:00

●受講料 36,300円（税込/テキスト付）※11/10（日）までにお申込の場合、**29,040円（2割引）**となります

I. 経営活動と見積書について知る

1. 見積書と会社の業績の関係
2. 見積書は利益が含まれる
3. 見積もりと原価計算の違い
4. 見積もりに必要な要件とは何か
5. いろいろな見積もり方法がある

II. 見積書を見よう＜事例1＞

1. 図面と見積書を確認する
2. 見積書に課題はないか
3. 見積書に情報がしっかり記載されているか
4. 見積書を査定するためには
5. 見積もり者に求められる能力は

III. 見積もりに必要な基礎知識

1. 見積書の基本情報とは
2. 品目売価の求め方
3. 材料費の求め方
4. 加工費の求め方
5. その他の費用
6. 工順設計の理解＜事例2＞

IV. 見積書では「見えないコスト」を考える

1. 見積金額だけに目を向けてはいけない＜事例3＞
2. 「見えないコスト」を金額にする
3. 品質、納期、コストに関する方針の整合性は大切である
4. 見積書と生産システム、調達方針を考える

V. 見積もりの手順とコストダウンの準備とコストダウンの着眼点

1. 取引先の開拓の仕方
2. 購入条件とコストダウンの準備を考える
3. 見積書の入手の仕方
4. 価格交渉（商談・技談）の進め方

VI. 購入品、加工品、原材料のコストダウンの着眼点

1. 購入品のコストダウン・アプローチの仕方
2. 加工品のコストダウン・アプローチの仕方
3. 原材料のコストダウン・アプローチの仕方

<本講座での習得事項>

1. 会社の利益と見積書の役割を理解できる
2. 見積書の記載内容とその求め方を理解できる
3. コストダウンに役立つ分析力が身につく
4. 見積書をコストダウンに繋げることができる

<講義概要>

企業を取り巻く環境はグローバル化の進展に伴い、一つの変化が他に大きな影響を及ぼすようになってきました。たとえば、米国が中心となったサプライチェーンの変更、コロナウィルスの発生による生産活動の停滞、2020年秋ごろからの原材料の価格高騰などがあります。そして、2022前の春先からの円安、電力料金の値上げなどです。これらの結果は、海外生産に依存していた企業の採算性を大きく悪化させました。そして、多くの企業が、生産拠点の国内回帰を進めました。さらに、過去のコスト実績データは参考にならず、取引先の開拓と見積書の評価（査定）が重要になってきました。

本セミナーではこの見積書について、その重要性について解説します。そのうえで、見積書は金額の安い高いだけを見るのではなく、その工順や設備機械など明細を知ることの大切さを述べ、その見積明細の読み解き方を考えます。また、見積品目によって異なる見積書の計算方法なども解説し、見積システムの活用についても述べています。最後に、見積書から得られる情報をもとにしたコストダウンを進めるための切り口について紹介します。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）


FAX
03-6261-7924

| | | | |
|-----------------------------------|--|--|------|
| 申込講座 | 2025/1/10 見積書の読み解き方と、その情報を活用したコストダウンの進め方 | | |
| 会社名※ | | | |
| 所在地※ <small>（請求書等の送付先）</small> | 〒 | | |
| 参加者① | 氏名※ | | TEL※ |
| | 所属※ | | FAX |
| | | | 役職 |
| | Email※ | | @ |
| 会員登録 | <input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small> | | |
| 参加者② | 氏名※ | | TEL※ |
| | 所属※ | | FAX |
| | | | 役職 |
| | Email※ | | @ |
| 会員登録 | <input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small> | | |
| 支払方法※ | <input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する | | |
| 支払予定日※ | <input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する | | |
| 備考※ | | | |

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

| | | |
|---|--------|---|
| A | FAX | 上記に必要事項をご記入の上、送信ください |
| B | E-mail | 送信先：entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください |
| C | Web | https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください |

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

| | |
|-------|-------------------|
| 振込先銀行 | 三井住友銀行 |
| 支店 | 多摩センター支店（909） |
| 口座番号 | （普） 0 9 7 3 5 2 2 |
| 名義 | 株式会社テックデザイン |

| | | | | |
|-----------------------|--------|--|-----|--------------|
| 主催 申込・問合せ先 | 名称 | 株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ） | | |
| | 住所 | 〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階 | | |
| | 電話 | 03-6261-7920 | FAX | 03-6261-7924 |
| | E-mail | entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ） | | |